

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：戸塚せせらぎ保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：佐藤 美佳	定員（利用人数）：80名	
所在地：〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町3001-2第7山洋ビル1階		
TEL：045-443-6976	ホームページ： http://www.cosmo.bz/ed/totsuka-seseragi/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2016年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 大和まほろば福祉会		
職員数	常勤職員：17名	非常勤職員：4名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 17名	栄養士 1名
施設・設備の概要	（居室数）	
	1階保育室	
	2階保育室	
	（設備等）	

③理念・基本方針

<p><理念></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分ので自分の人生を切り拓き人として自立し世のため人のために尽くす人を育てる。 <p><基本方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ● お客様第一主義 ● 環境整備の徹底 ● クレーム最優先

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>●戸塚せせらぎ保育園は、保育教育理念の根幹に「人間力をつける教育」に置き、理念に「自分ので人生を切り拓き人として自立し世のため人のために尽くす人を育てる」と謳い、保育目標に、①「こどもの可能性を引き伸ばし育てる」、②「人間としての基本を身につける」、③「転んだら自分ので起きあがる」、④「失敗をたくさん経験する、やればできる自信を育てる」を掲げています。そして、せせらぎの子ども像に「自分から挨拶をします」、「名前を呼ばれたら相手の目を見て“はい”と返事をします」、「自分のことは自分でします」、「最後まで一生懸命頑張ります」としています。戸塚せせらぎ保育園の特徴的な取り組みとして、体操指導、読み書きの学習指導、音楽（発声・ピアノ）、食育が挙げられます。また、職員は、「本物の</p>
--

先生」になること目指し、子ども一人ひとりに対して保育を通して次のように接しています。出来ない子どもを、全ての子どもを、百パーセント出来るように導き、結果を出せること、たくさんを知ることを知よう努めています。そして、指導に置いて、子どもが少しでもできたら皆の前で褒め、励ますことを最も大切にして保育に当たっています。職員の日々の研鑽により、子どもたちの目は生き生きと輝いており、大人に対して元気に大きな声で挨拶ができます。戸塚せせらぎ保育園の子どもたちは、基本的習慣がきちんと身に付き、場面ごとにメリハリとわきまえを備え、強く生きる人間力が培われています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 9月 11日（契約日） ～ 2020年 4月 27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2018年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【一人ひとりの子どもの主体的な活動を促し、強い人間力を育む保育】

●戸塚せせらぎ保育園では、保育教育理念の根幹に「人間力をつける教育」に置き、「人間としての基本を身に付ける」、「全ての子どもたちの能力を引き出し、その可能性を最大限に伸ばす」、「全ての子どもができる」、「自ら進んで取り組める」をモットーに、毎日少しずつの実践の積み重ねにより、一步ずつ確実に進めています。5歳児の年間指導計画の教育のねらいには、「自分の力を発揮し、共通の目的に向かって友達と協力しながら活動に取り組む」とあり、順次月案、週案、日案に移行して保育を実施しています。保育日誌では、「6月戸外活動で、公園内に他の園の友達もいたが、相手のことを考えながら遊ぶことが出来ていた。」、「自分たちだけが使うのではなく、相手に譲ってあげる姿が見られた。」、「8月製作で、折り紙で紙飛行機を作る活動を行った。出来る子は出来ない子に教えてあげることが出来ていた。」、「周りの子が困っているのを見つけて声をかける姿も見ることが出来た。利他の心を持っていることを褒めた。」、「9月かけっこで、かけっこの際に全力で取り組んでいる子どもが増えた、全力で走っているため負けると悔し涙を流す姿が見られた。本気で頑張ることの大切さを改めて伝えていく。」等、方針に沿った子どもの姿、成長を具体的に記載され、子ども自身が取り組んでいく中で強く生きる力・人間力の育みにつなげる保育の実施が確認できます。戸塚せせらぎ保育園では、一人ひとりの子どもが主体的に活動できる保育、保育所保育指針の子どもたちに望まれる資質・能力の3本柱を育む保育が行われています。

2. 【成功体験を重ね、意欲や有能感を育み、何事にも意欲的に取り組む姿勢】

●戸塚せせらぎ保育園の幼児では、体操を通して心身全体を働かせて様々な活動を行い、様々な側面の発達に必要な経験を相互に関連させながら日々積み重ね、何事にも積極的に取り組む意欲につなげ、豊かな人生を送るための基盤作りを支援しています。1歳児はリズム体操、2歳児はかけっこや椅子取りゲーム等、組織的な体操、エクササイズを始めています。3歳児から組織的な体操を主活動として毎日実施しています。保育日誌の記録から、「3歳児7月、ブリッジ、逆立ちに入る際、手の向きを徹底して行った。手の向きが合っている子から技の練習に参加させた。」、「3歳児

10月、ブリッジ回転の練習では、レインボーマットの段数を5段から1段まで準備して行った。出来たらどんどん次の場所に行けるようにする事で、子どもの意欲を高めてゆく。」「5歳児7月、柔軟、ブリッジ歩き、3点倒立、連続側転、逆立ち歩きを行った。柔軟を始めた時に1人の声しか聞こえなかったため、直ぐに全員動きを止めさせ、体操を止めて黙想すると伝えた。すると自ら大きな声を出します、と宣言していた。それ以降は常に大きな声で返事や数を数えることが出来た。」「5歳児8月、連続側転の際、「克己」について話しをした。目を丸くして聞くことが出来た。片付けや環境設定を自分たちで行うことが出来た。」と記されています。3歳児と5歳児で、子どもの肉体の成長と運動訓練によって成される心身の発達・成長が読み取れます。子どもたちは、段階的な体操が出来るようになって自信をつけると、他のことも自信を持って取り組める子どもになります。戸塚せせらぎ保育園は、体操を通して成功体験を重ね、意欲や有能感を育み、何事にも意欲的に取り組める力を養うよう取り組んでいます。

◇改善を求められる点

1. 【保育所保育指針に呼応した指導計画の作成について】

●戸塚せせらぎ保育園では、保育教育理念の根幹に「人間力をつける教育」に置いた保育が行われており、既に、「育みたい資質・能力3本柱」及び「育てほしい10の姿」に呼応した保育が行われています。1歳未満児の保育のねらい及び内容の区分が5領域になっていますが3視点に見直す。特徴的な取り組みとした体操指導、読み書きの学習指導、音楽（発声・ピアノ）、食育があるので、明示をする。幼保小連携としたアプローチプログラム、横浜市保育所児童保育要録、幼保小連携交流事業の明示を行う。保護者に対する子育て支援について丁寧に表現を見直す。研修計画を明示する。以上5項目について、教育及び保育の内容に関する全体的な計画に明確に表現すると良いと思われます。そして、「全体的な計画」を保育の要として職員全体で共有されることを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：戸塚せせらぎ保育園

施設長：佐藤 美佳

<評価に取り組んだ感想>

今年度もありがとうございました。

毎回、園のこと、職員・子どもたちのことをよく見ていただき感謝しております。

今回も保育計画や事業計画の面で学ばせていただくことが沢山ありました。今後の園運営につなげていきたいと思えます。

<評価後取り組んだ事として>

1. 全体的な計画の見直し

2. 保護者支援についての取り組み

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり